

平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	アジア開発銀行拠出金（任意拠出金）		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始		担当課室	アフガニスタン支援室		室長 有馬 裕		
会計区分	平成22年度補正		施策名	Ⅶー3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 （具体的な 条項も記載）			関係する計画、 通知等					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	我が国は、アフガニスタンを再びテロの温床にしないとの決意の下、国際社会と協力しつつ最大限の対アフガニスタン支援を実施。アフガニスタンの持続的・自立的発展のための支援の一環として、幹線道路の整備事業を実施することにより、貧困対策に資する雇用創出にも繋がることともに、物流促進による経済効果・生活改善も期待される。							
事業概要 （5行程度以内。別添可）	アフガニスタンにおける治安の悪化や脆弱なガバナンスは、放置すれば中央政府の統治の瓦解をもたらす段階に達しており、直ちに措置を講じる必要がある。治安の悪化の背景には貧困の問題等があり、かかる観点から、道路等のインフラ整備を通じた緊急雇用創出により、民生の安定を図る必要がある。また、道路等のインフラを管理監督する中央政府を支援することによって、以上の活動が遅滞なく適切に行われる体制を早急に整備し、ガバナンスの強化を目指す。 本年7月にも開始される予定の米軍の撤退に向け目に見える成果を出すことを目的とし、具体的には、早期に整備が必要な東西回廊の一部（カブールージャララバード間の道路の一部）といった案件を通じた緊急雇用創出を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・ 執行額 （単位:百万円）	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算			1,880			
		繰越し等			1			
		計			1,880			
	執行額				1,880			
	執行率(%)				100%			
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 （23年度）
	【成果目標】 物流促進による生活改善、経済活性化等 【参考指標】 整備対象地域における移動時間の短縮		成果実績	時間 短縮率 %			実施中	25
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	カブールージャララバード間の幹線道路の一部（バグラムーサパリ間約50kmのうち約20km）の道路修復。		活動実績 （当初見込み）	km			実施中 () ()	20
単位当たり コスト	道路建設1kmあたり約1億528万円		算出根拠	アジア開発銀行試算によるバグラムーサパリ間約50kmの総建設費用が約52億6400万円であり、これを元に単価を計算				
平成23 （単位：千円） 年度予算内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	特段問題なしと認識。		
予算監視・効率化チームの所見			
—	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			